

《担当者名》平 典子[hiran@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

学生の関心領域を主軸に、理論的な基盤を明確にしながら、がんサバイバーとその家族が体験する現象を多角的に捉え、これらの人々の適応プロセスの促進とQOL向上をめざした学際的かつ総合的なアプローチ法を探究する。

【学修目標】

自己の関心領域に関連するがんサバイバーと家族の体験および介入法について、理論や概念を活用し多角的に説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 6	自己の関心領域におけるがんサバイバーと家族が抱える課題について多角的に検討する	種々の理論、先行研究での知見を統合させながら、課題の意味および課題を捉える方法を検討する	平
7 ) 12	これまで検討したがんサバイバーと家族が抱える課題に対し、適応プロセスの促進とQOL向上のアプローチ法を検討する	種々の理論を活用し、その理論の説明範囲や理論的矛盾を検討しアプローチ法を探究する	平
13 ) 15	中心概念の分析、検討	自己の関心領域、着目する現象とその課題を説明する概念を分析する	平

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート(40%)、プレゼンテーション(40%)、ディスカッション(20%)

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

学習目標の達成に向け、関連領域の文献を熟読し臨む。